

## 5. アンケート調査実施状況

表-15 アンケート調査票の構成

質問項目の分類・目的	質問内容	質問項目数	
A. 生活環境に対する意識 全般的な生活環境に対する意識を問い、騒音評価との関連性をあわせて調査する。また、バイアスを防ぐために、騒音意識調査の意図をマスキングする。	<Q1, 2> 地区の総合評価	2	18項目
	<Q2>(1) 地区特性	7	
	" (2) 住居特性	3	
	" (3), (4) 公害の問題意識	6	
B. 騒音の影響に対する意識 本調査の目的に関する主要部分であり、主質問として「うるささ」の総合評価、影響総合評価、個々の影響および複合騒音に対する意識程度などを問う。	<Q3> 「うるささ」総合評価	1	22項目
	<Q4> 個々の影響	10	
	<Q5> 影響総合評価	1	
	<Q6> 騒音源の影響順位	2	
	<Q7> 騒音源別の評価	6	
	<Q8> 複合騒音の影響	1	
	<Q9> うるさい時間帯	1	
C. 騒音対策等に対する問題意識 騒音問題に対する基本的な考え方や対策についての意識を問う。	<Q10> 健康への害	1	8項目
	<Q11> 騒音の許容性	5	
	<Q12, 13> 騒音の防止対策	2	
D フェース・シート 騒音に対する意識との関係を調べるために、回答者の諸属性を問う。	<F1~6> 対象者・家族の属性	6	10項目
	<F7~9> 住居特性	3	
	<F10> 回答者の確認	1	
			計58項目